# 事　業　概　要

## 岩見沢の魅力を活かし、磨き上げる

国内観光全体はインバウンド需要の高まりもあり、活況を呈しています。岩見沢市の観光については、オーバーツーリズムに陥ることもなく、ゆったりとした時間を楽しむという岩見沢の魅力を十分に保ちながら、観光情報の提供を進めることが出来ています。

百餅祭りをはじめとする各種祭りのほか、いわみざわ公園やワイナリーなど、雄大で美しい景観は、徐々に海外にも知られつつあります。昨シーズン、雪の季節に多くの外国人観光客が岩見沢を訪れたことを踏まえ、岩見沢市が中心となり、10月には第1回インバウンド連絡会議が開かれました。ホテルや飲食店、周辺住民など関係者が意見交換をしながら、今後の対応を模索しています。岩見沢の魅力を活かしつつ、さらに磨き上げ国内外へ発信していくことを目指していきます。

## 観光振興事業・北海道観光機構事業・旅行業

今年も市内外で行われる様々なイベントに出店することができました。岩見沢の商品を知っていただくきっかけにもなり、各商品も好評で、お客様との会話も弾みました。

北海道観光機構事業では、「そらちワインの魅力発信プロジェクト」への補助が最終年度を迎え、自走化へ向けた最終段階へと進んでいます。

旅行業については、マイクロツーリズムの取組みとして、陶芸体験やウェルネスツーリズムにつながる企画により、短い時間でありながら、ゆったりと過ごして頂ける企画を展開していきます。

## Webを中心にしたプロモーション・広報戦略

観光協会のプロモーション、広報戦略はWebを中心に、多くの人の目に留まるよう様々な工夫をしてきました。旅行客の情報はインスタグラムなど、短く、視覚に訴えるものが力を発揮するといわれており、思いがけない映像が関心を引くなど、手ごたえを感じています。

岩見沢市のふるさと納税PRについても、観光協会のもつ情報やデザイン力が評価され、岩見沢市の委託をうけて引き続き観光協会がカタログ製作などに携わっています。

## 教育との連携

市内の小中学校や高等学校からの依頼により、様々な授業への協力を行っています。タブレットを活用したCM制作の授業希望も多く、子どもたちの関心も高いようです。また、お祭りの運営に関する関心も高く、3条倉庫の見学希望も増えており、観光協会がふるさと教育の一部を担うことができました。







# いわみざわ彩花まつり
# 7月3日（木）～6日（日）、花火大会7月26日

開催場所　あやめ公園、バラ園、駅東市民広場公園、北海道グリーンランド遊園地
来場者数　踊りとお祭り広場　5,000人
　　花火大会　　5,700人




今年のいわみざわ彩花まつりは、花の鑑賞を中心とした7月3日～6日にイベントを集約し、あやめ公園、バラ園、駅東市民広場公園と市内3か所を会場に開催しました。



あやめ公園では、恒例のあやめ株やあやめ団子の販売、バラ園では箏曲演奏や野点、人気の盆栽展など、恒例のイベントで来場者に楽しんでいただきました。毎年足を運んでくださるファンも多く、今年も多くの来場者でにぎわいました。

北海道グリーンランドを会場に開催された花火大会は、雨模様とはなりましたが5,500発の花火が次々に打ち上げられ、約5,700人の来場者の歓声に包まれました。



5回目を迎えたフォトコンテストでは、昨年好評だったフォトセミナーを今年も開催。その影響もあってか、質の高い作品が多く寄せられました。また、今年から審査に来場者による投票を加え、多様な視点からの受賞作品の審査が行われました。受賞作品は、ホームページ上で紹介されたほか、岩見沢駅をはじめ、市内各所で展示しました。



最優秀賞作品「春のパレット」

駅東市民広場公園のメイン会場である赤れんがホールでは、ダンスパフォーマンスのほか、フォトコンテスト作品の紹介と投票受付、POLAによるハンドマッサージとうちわづくり体験、北海道教育大学の協力によるステージパフォーマンスやスポーツ体験など、多くのプログラムで楽しんでいただきました。

当日はお天気に恵まれた半面、30度を超える厳しい暑さとなりましたが、生産者の皆さん自ら販売する農産物の直売が大人気で新鮮野菜が飛ぶように売れていました。
そのほか、キッチンカー13店舗が出店し、スイーツから食事系まで幅広いメニューが提供されました。

観光踊りが始まる頃には暑さも和らぎ、約360人の皆さんによる踊りの輪が広がりました。今年も市内の野球チームがユニフォーム姿で踊りの輪に加わり、盛り上げてくれました。
踊りの最期には抽選会も開催され、暑い夏の一日を来場者の皆様と共に楽しみました。



## きたむら田舎フェスティバル
## 8月16日(土)

開催場所　北村中央公園ふれあい広場、北村環境改善センター
来場者数　20,000人

好天に恵まれ、オープン直後から多くの人でにぎわった会場には味自慢の飲食部門と、おもちゃや野菜などの販売部門のテントが会場いっぱいに並びました。



会場中心のステージでは、アイドルグループやモノマネタレントなど多彩なライブパフォーマンスが行われたほか、北村ブラスと岩見沢まつりブラスのコラボ演奏や、人気イベント「わーるぞカップ」など今年もおおいに盛り上がりました。






水面に映る美しさが特徴の恒例「沼上連発花火大会」の時間が近づくにつれ、多くの来場者で会場は満員に。
次々と打ち上げられる花火の迫力と美しさに歓声があがり、暑い夏を彩る一日となりました

## くりさわ農業祭
## 8月23日(土)～24日（日）

開催場所　栗沢中央公園
来場者数　20,000人




市内外はもとより、地元のみなさんに愛されているイベントくりさわ農業祭。新しい実行委員会となって2回目の今年は、情報発信にも力を入れ、クリちゃんが市内を散歩しながら農業祭をPRするという動画シリーズをインスタグラムで公開するなど、注目を集めました。
実行委員の熱い思いが届いたのか、お祭り当日は気持ちの良い青空が広がり、絶好のお祭り日和となりました。

「来て、見て、食べて、遊んで、踊って、楽しいよ！」のキャッチコピーのとおり、会場には幼児向けエア遊具のコーナーも登場。

様々なイベントのほか、キッチンカーなどの出店、農産物の直売などメニューも多彩で、来場者を楽しませていました。



土曜の夜には、恒例の仮装盆踊りが開催され、今年も多くの参加者による趣向を凝らした仮装を観ることができ、子どもから大人まで、みんなが笑顔になってお祭りを楽しんでいました。今年のお祭りの様子は、インスタグラムでご覧いただくことが出来ます。

# いわみざわ百餅祭り
## 9月13日(土)～14日(日)

開催場所　中心商店街（メイン会場は4条通り）
来場者数　38,500人




五穀豊穣、健康長寿、商売繁盛を祈願する「第43回いわみざわ百餅祭り」 今年も和太鼓連絡協議会の協力により、勇壮な和太鼓演奏で幕を開けました。開会式は、青空の元、岩見沢神社のご協力で厳粛な中にも華やかに執り行うことが出来ました。

開会式の後、あいにくの雨となってしまいましたが、雨にもかかわらず引手として参加してくださる方も多く、荒天をものともしない結束力でおいしいお餅をつきあげることができ、自衛隊の皆様が心を込めて調理してくださった美味しいお汁粉と共に来場者の皆様にご賞味いただきました。



大臼餅つきの合間の時間、百餅やぐらの前で開催されるダンスパフォーマンス。雨で足元が滑りやすいという悪条件の中、子どもたちのエネルギッシュなダンスが繰り広げられました。

1日目終了後、夜間の台風並みの暴風により、いくつかのテントが破損する事態となってしまいましたが



早朝から(株)中村電気、並びに(株)アクティオの皆様に電気設備修理とテント修理に迅速にご対応いただき、無事2日目を迎えることが出来ました。

2日目は前日とは打って変わって晴天となり、多くの皆様にご来場いただきました。栄通りを会場に行われた「百餅市」には18店舗が出店し、多くの人でにぎわいました。

2日目には、4条通りのちびっ子百臼をはじめ、商工会議所青年部による子ども餅まきなど、子どもたちが中心となるプログラムが多く企画されていましたが、持ちよく晴れた秋空の元、楽しい雰囲気の中行うことが出来、子どもたちの歓声が響いていました。

このほかにも、多くのプログラムで来場者に楽しんでいただいた百餅祭り。お祭りの最期には、岩見沢管工事業協同組合の皆様による長寿餅まきが行われ、今年も多くの皆様のご協力、ご支援のもと、無事2日間の日程を終えることができました







## IWAMIZAWAドカ雪まつり
## 2月7日(土)～8日(日)

開催場所　駅東市民広場、イベントホール赤れんが
来場者数　14,600人




岩見沢市としては記録的に雪の少ない冬となり、雪像が作れるのか危ぶまれましたが、実行委員の皆様の協力で、公園内に雪を運び込み、なんとか雪を確保することが出来ました。また、制作中は晴れの日も多く、光で雪が解けないよう遮光シートを張りながらの作業となるなど、陸上自衛隊岩見沢駐屯地の皆様には大変なご苦労をおかけしました。

今年のステージには岩見沢のキャラクター「いわみちゃん」と陸上自衛隊岩見沢駐屯地のキャラクター「もちのすけ」が並び、たくさんの子どもたちが一緒に写真を撮っていました。

開会式は、気持ちの良い青空の元、岩見沢市長はじめ多くのご来賓の皆様にお越しいただき、雪のステージ上で行われました。




開会式に続き、赤レンガホールでは今年初登場の「いわみざわまつりブラス」によるコンサートにつづき、子どもたちの熱いステージが繰り広げられました



豪雪地帯・岩見沢で雪に触れ、雪に親しみ、自然を理解し楽しむという趣旨のとおり、たくさんの子どもたちが会場のあちこちで歓声を上げていました。大人気のドカ雪滑り台のほか、プレーパークや北海道教育大学岩見沢校サッカー部によるシュートゲーム、武蔵野美術大学の雪アートのコーナーも設けられたほか、少年野球チームも企画に加わり、自由に遊ぶ姿が印象的でした。焚火のコーナーでは焼きマシュマロが大人気！恒例のジャンボかるたも大賑わいでした。

今年で3回目となる、ちびっこ人間ばんばでは、大人顔負けのパワーで会場をもりあげ、続くメインイベントの人間ばんば選手権は、どのチームもさすがの実力で僅差の戦いとなりました。

豚汁や雉なべの無料配布、ドカ雪屋台村など、飲食コーナーも大賑わいとなり、2日間、にぎやかに開催することができました。







## 東京大地会
## 6月7日（土）

開催場所　アラスカ日本プレスセンター（東京都千代田区）

東京在住の岩中・岩高・岩東卒業生からなる東京大地会にて物販を行いました。

今回は幹事の方から試飲・試食をお願いされたため、開場に入られた方たちへのご案内とともに商品をおすすめすることができ、販売にもつなげることができました。



販売前の準備風景


試飲・試食の様子

## 北観協　空知大会
## 6月19日（木）

開催場所　ホテルサンプラザ1階

北観協　空知大会がサンプラザにて開催され、1階ラウンジにて観光協会と宝水ワイナリーが出店しました。来場の方に1000円分の商品券が渡されたため、商品券を利用して買い物される方が多かったです。今回空知大会ということで、空知の市町村の商品も用意しましたが、空知の商品はあまり手にする方が少なく、岩見沢市の商品をお買い求めいただく方が多いように思いました。

## 北海道ハイウェイShow Area 2025
## 6月21日（土）、22日（日）

開催場所　道央自動車道　輪厚PA（下り・札幌方面）

輪厚PAにて、物産販売を行いました。今回ワインのスイーツマリアージュとして開発したスコーン2種を販売し、好評を得ました。1日目は人手も多く、販売も伸びましたが、2日目は雨模様だったため、客足も悪く、なかなか販売につなげることができませんでした。


岩見沢ブースで会場へPR

ただし、輪厚PAはもともと立ち寄る車も多いので、次回のイベントにも期待が持てると思われました。



岩見沢ブースの様子

## 全国市議会議長会研究フォーラム
## 8月27日（水）、28日（木）

開催場所　札幌文化芸術劇場hitaru（札幌市中央区）

札幌文化芸術劇場hitaru4階にて物販を行いました。
全国市議会からのお客様のため、こぶし、DAIZなどの箱ものの人気がありました。特に「バター薫るいちじくのそらちワイン漬ケーキ」は1日目から好評だったため、2日目も追加して販売を行い、トータルで30個を超える販売を行うことができました。

## Forest Friends Park2025
## 8月30日（土）

開催場所　芸森スタジオ＆Cloud　Lodge（札幌市南区）

そらちワインのPRとして、宝水ワイナリーからポートランド、レンベルガー、山﨑ワイナリーからシャルドネ、タキザワワイナリーからデラウェアオレンジSPの4種類を販売。また、ワインにあうおつまみセット、スイーツマリアージュの商品も用意しましたが、雨足が強く、参加人数も予定よりかなり少ない状態だったため、販売は伸び悩みました。ただ、ワインを飲んでくれたお客様が美味しかったとリピートしてくれる方もおり、そらちワインの力を感じるイベントとなりました。



観光協会ブースの様子



おつまみセット




ゆで落花生も販売

## エスコンフィールド北海道　地域PRブース出展
## 9月20日（土）

開催場所　エスコンフィールド北海道（北広島）

岩見沢市企画室と合同で地域PRブースにて物産の販売、ふるさと納税のPRを行いました。当初の予定数を増やしてほしいとエスコン側から依頼されたこともあり、いつもの物販よりは多く商品をそろえましたが、ワインのスイーツマリアージュのスコーンなどは早々に売り切れ、他の商品も日本ハムファイターズのマスコットB・Bが販売応援をしてくれたこともあり、ほぼ完売の状態となりました。




地域PRブースにて



お客様でにぎわうブース

## バラ園秋のパン祭り
## 9月27日（土）、28日（日）

開催場所　岩見沢公園バラ園

バラ園で昨年開催したパン祭りが好評だったため、今年もお願いしたいとの依頼があり、今年は2回開催しました。市内のパン屋6店舗（あぽろん、ブレ・シュクレ、縁屋、ぱんびーの、かんすけ、こんとれいる）のパンを各30個ほど用意していただき販売しました。1日目は4店舗、2日目は2店舗の商品を販売し、おおむね完売することができました。特に2日目は販売から2時間で完売となり、岩見沢のパン人気を感じることができました。

## オータムフェスト
## 10月2日（木）、3日（金）、4日（土）




開催場所　大通8丁目会場（札幌）

オータムフェスト最終期の4期に出店。今年はメープルロッジと合同で出店しました。岩見沢市観光協会ではほのかグループに協力をいただき「オニオン・ラテ・ぬーどる」を開発し、好評を得ました。また「ぶっ豚汁」のメニューは岩見沢産の野菜がたっぷり入り、岩見沢産の野菜のおいしさもアピールすることができました。

## レバンガ北海道市民デー
## 10月25日（土）

開催場所　きたえーる（札幌）

今回も市役所企画室からの依頼で、物販を行いました。今回は市内の緑陵高校の情報コミュニケーション課の3年生6名が市内のだるまや商店のおからと油揚げを使ったパンを考案し、市内のパン屋縁屋で制作してもらった2種類のパンを販売しました。各100個ずつ用意しましたが、高校生の方たちの呼びかけもあり、200個完売することができました。
レバンガでの販売は今までは、出店料など必要がなかったのですが、今回から完全キャッシュレスになり売り上げの10％を手数料として支払うことになったため、販売金額などを店舗販売より高めの設定にする必要があるなど、次回からの販売方法に考慮が必要と感じました。



# そらちワインの魅力情報発信プロジェクト（令和7年度伴走支援型観光地域力強化推進事業　広域連携枠）

2023年度から行っている「そらちワインの魅力情報発信プロジェクト」の3年目事業として、さらなるそらちワインの魅力を発信すべく、様々な事業に取り組んでいきます。

## ■　空知ワインガイド養成

1月に行った認定ガイド試験により9名の認定ガイドを輩出し、今年度は本格的にワインガイドとして活躍していただきました。そらちワインタクシープランにガイド付きプランを造成し、今年度は8台のワインタクシーにガイドを派遣いたしました。


宝水ワイナリーにてワインガイド


TAKIZAWA　WINERYでの研修風景

またそのほかにもJTB、空知総合振興局からの依頼でガイドを派遣し、そらちワインや、地域の魅力の発信に努めています。

## ■ワインに合うマリアージュの開発

昨年度から、そらちワインの魅力をもっと多くの人に…をコンセプトに、三笠市の「IMO melon NANKIN」に協力をお願いし、スコーンなど販売を行ってきましたが、11月に閉店することになり、新しく開発をお手伝いいただける事業者を探し、市内の「ESPRESSO STAND　PLATS」にご協力いただき、新商品を開発することになりました。スコーンやケークサレを各2種類開発し、スコーンはカフェI-38にて常時提供し、ケークサレは月2回営業している夜カフェにて販売しています。



カフェで提供中のスコーン

## ■能と日本酒

2025年11月1日（土）

能の話を肴に日本酒を楽しむ会として昨年に引き続き「能と日本酒」をホテルサンプラザで開催しました。講師に、シテ方宝生流の若手能楽師の藤井秋雅先生をお招きし、能についてのお話を聞かせていただきました。



会場の様子

今回は日本酒利き酒師の資格を持つ佐々木恵さんに、日本酒の選定もお願いし、日本酒と能の愉しみを教えていただきながら、みなさまに楽しんでいただきました。


佐々木さんから日本酒の紹介

## SNSでの情報発信

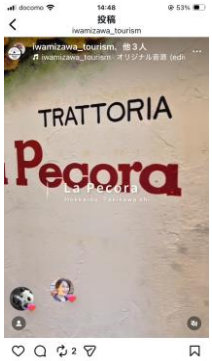
そらちワインの魅力を発信するためには、そらちワインを飲むことができるお店を紹介し、ワインの美味しさを知ってもらうことが裾野を広げるためには必要不可欠であることから、今回SNSでの情報発信を行いました。現在、岩見沢市、美唄市、滝川市のお店5店舗を紹介したところ、Instagramの動画再生が計8万回を超えており、SNSでの効果を改めて感じているところです。



蕎麦切り　むら多
（岩見沢）



カフェ・ストウヴ
（美唄）



La Pecora
（滝川）


ホテルメープルロッジ
（岩見沢）



空知ワインの飲める店５選

## そらちワインモニターツアー

昨年度行った札幌発着のそらちワイナリーモニターツアーをブラッシュアップし、今年度はワインガイド付きのモニターツアーを2回行いました。。
12月27日に日帰り岩見沢発着のモニターツアーを行い9名の参加、1月30日、31日には1泊2日札幌発着のモニターツアーを行い7名が参加しました。日帰り、宿泊とも宝水ワイナリーでの試飲・オリジナルスワッグ体験、ホテルメープルロッジにてPOLAスタッフによるセルフエステ体験、温泉入浴を楽しんでいただき、日帰りはウェルネスランチ、宿泊はウェルネスディナー、ヨガ体験、くりやまアンド・アムにて昼食、馬追蒸溜所にて試飲・蒸留所見学などを行いました。アンケート結果によると日帰り、宿泊とも満足度が高く、来年からのツアー造成に期待ができる商品となりました。

### 12月27日のツアーの様子


スワッグ作り体験
（宝水ワイナリー）


POLAスタッフによる
セルフエステ
（メープルロッジ）


ウェルネスランチ
（メープルロッジ）

### 1月30日、31日のツアーの様子


スワッグ作り体験
（宝水ワイナリー）

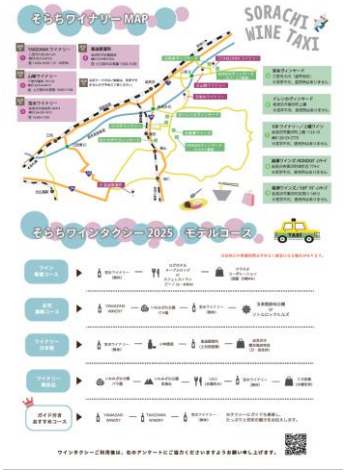

ヨガ体験
（メープルロッジ）

## そらちワインタクシー事業
## 7月1日（火）～１０月31日（金）

期間中、23台54名の乗車がありました。今回からはじめて、ガイド付きワインタクシーを導入し、8台のお申込みがありました。ガイド付きにお申込みされた方からは、ガイドさんからワイナリーの愉しみ方を教えてもらい、ドライバーさんから地域の情報を教えてもらうことが出来て、2倍以上楽しめたと思うとの声もいただくことができました。
来年はPR活動に力を入れ、40台すべて販売できるよう努めるとともに、ガイド付きワインタクシーの魅力を伝える場を広げていければと思います。

販売価格　1台4時間　15,000円、ガイド付きワインタクシー4時間　25,000円




## 陶芸体験＆ランチ　バスツアー
## 3月17日（火）




岩見沢を代表する陶芸作品「こぶし焼き」
幅広い年代に人気のこぶし焼きの陶芸体験とランチを組み合わせたツアーを実施しました。
今回は、江別地域で配布されている「まんまる新聞」に掲載していただいたことから、江別からの参加申し込みが多く、定員を超えてお断りしなければならないほどの人気でした。
今後も、周辺市町村へのPR方法を検討しながら事業を企画していきたいと思います。

## 岩見沢フィルムコミッション活動
## 雑誌、MV、映像制作のロケハンなど実績増加

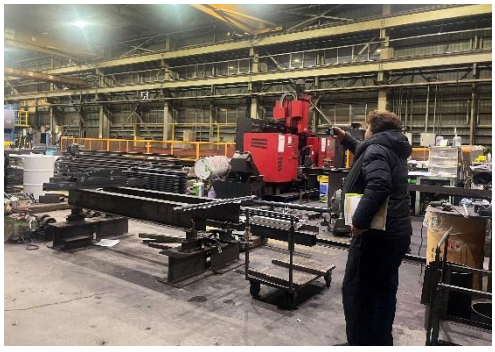
昨年度に引き続き、多くの映像制作や雑誌関係の撮影やロケハン対応などを行っています。
全国ロケーションデータベースには、岩見沢緑陵高等学校、北海道グリーンランドをはじめ、宝水ワイナリー、メープルロッジなどが掲載されており、タレントや女優・アーティストさんの雑誌撮影地として多くの場所が選ばれています。



自主映画撮影予定の監督と中国のプロデューサーとの打ち合わせの様子

※　ロケハンとは

ロケ地を決定するために、写真や映像を実際に撮影する前に、撮影で使用する場所を事前に下見することを指します。また、当日の動きを想定するため「下調べ」までを全て念入りに行う場合も少なくありません。
制作関係者は一つのテーマに対し複数のロケハン候補地情報を持っており、北海道には小樽や十勝・道東など北海道らしさを一つの地域で表現できる地域も多いことから、実際にロケハンを行っても成立する確率は現状高くはありません。



**某映画のロケハン風景**

脚本を元に監督の求めるロケーションを映画制作部のスタッフとともにロケハンを行う。

## 岩見沢市内ロケ候補地募集開始！！
## JLDB（全国ロケーションデータベース）への掲載

岩見沢フィルムコミッションでは、撮影にご協力いただける市内のロケ候補地を募集するためフライヤーを作成。
登録したロケ候補地は、フィルムコミッション担当のヒアリング後に全国ロケ地データベースに掲載し、制作会社からの条件とマッチした場合に、ご紹介や情報提供などを行います。




**募集対象**

店舗・ホテル・事務所・学校・工場・畑・空地・施設・個人住宅・倉庫等

**岩見沢フィルムコミッション事務局**
（岩見沢市観光協会・岩見沢市観光物産振興課）

## 岩見沢フィルムコミッションとしての成果
## 様々な映画制作への協力と連携

岩見沢フィルムコミッションとしての体制強化。映画制作関係との連携やロケハン、撮影地探し、各所への交渉などへの制作からの要望や依頼に対し迅速な対応を行うことで、映画作品のロケ地の一カ所目として岩見沢を撮影地として選んでいただくことに繋がった。※また、映画に係わる制作人と強固な連携をとることで、岩見沢や空知ワインのPRにもなる重要なシーンへ出演も果たすことができました。






**2026年2月某映画撮影にて**
**2月6日（金）岩見沢市内撮影（北村地区）**
**2月17日（火）エスコン撮影**
**「ワインフェス会場シーン」岩見沢ブースとして出演**

エスコン：岩見沢のワイン「宝水ワイン」「メープルロッジワイン」やノースファームストックの商品を並べ、ワインフェスとしての賑わいを演出。岩見沢のご当地キャラ「いわみちゃん」も登場しPRすることができた。

## 2026撮影映画・2027撮影映画への継続的なサポート中




現在も、今後予定している映画作品の制作陣や監督との連携、各種相談対応や打合せを行いながらFCとしての活動中です。

作品によって必要となるロケーションが多岐に渡るため、より作品イメージに近いロケーションを提案するためには、岩見沢フィルムコミッションとしての活動を知ってもらいながら、地域の方や市内の企業と連携をとっていくことが重要になっています。

## 「JOIN ALIVE」ご当地キャラクター「いわみちゃん」で参加アーティストやグリーンランド来場者へPR

岩見沢市役所観光物産振興課と協力し、毎年岩見沢市で開催する北海道最大規模の野外音楽イベント「JOIN　ALIVE」のアーティストエリアにいわみちゃんで登場！岩見沢市の特産品のお菓子やいわみちゃんステッカーをアーティストに直接配り、２日間に渡りPR。
出演アーティストの公式SNSなどでも「いわみちゃん」と撮った写真を投稿してくれたりと、昨年よりも大きなPR効果となりました。






２日目はJOIN ALIVEアーティストエリアだけではなく、北海道グリーンランド内でも「いわみちゃん」が登場。
北海道グリーンランド公式Tiktok用の動画撮影も含め、子ども連れのご家族を中心に、多くの方と写真撮影などを行いました。

北海道グリーンランド公式TikTokはこちら ▶



グリーンランド　TikTok

## 「いわみちゃん」を使用した岩見沢PRを強化！



今年はJOIN ALIVEのほか、岩見沢市企画室と共同で出店したエスコンフィールドでのPRや、大通ビッセで行った空知ワインとマリアージュのPR出店、オータムフェスト商品で監修協力いただいた「湯処ほのか」などにも「いわみちゃん」が登場し、岩見沢市のPRに貢献しました。

# SNS通じての岩見沢の魅力発信

今年は、滝川の地域おこし協力隊の方や旭川のYOUTUBER兼ケーブルテレビディレクターの裸電球さんとコラボし、それぞれのアカウントの持つフォロワーを取り込みながら、新しい動画スタイルも取り入れています。

## Instagram　リール動画




滝川市：撮影　ラ・ペコラさん




岩見沢市：撮影　蕎麦切りむら多さん




岩見沢市：撮影　リトルロックヒルズ







### 投稿の仕方もアップデート

投稿で使用する写真をテキストを入れたデザインに変更

→投稿インサイト数値がアップ
フォロワーだけでなく、フォロワー外の方にも今まで以上におすすめ投稿として表示されるようになりました。

## X・Facebookも継続して投稿中

Instagram　X　Facebook　Youtube

## WEBや新聞を通じての発信（その他媒体）

### PRタイムスでメディア発信

1　健康長寿を祈願し、秋の実りを食べて楽しむ！人気のお汁粉無料配布も！
　9月13日(土)、14日(日)開催！



**９月５日投稿**

ページビュー数　**6818**

**お祭りの投稿としては異例の数値！**

投稿から4日間の数字がページビュー数の9割を占める。秋のイベントやお祭りへの関心がうかがえた。

観光協会HPでも、お祭り時期になると関連のページへの流入が数倍になる。

**WB媒体**

---

2　岩見沢市観光協会✖ほのかグループ共同開発！さっぽろオータムフェスト
　8丁目会場で新メニュー登場




**９月25日投稿**

ページビュー数　**1937**

**投稿から10日間もページへの流入がつづくロングヒット投稿！**

記事内容の充実と写真を増やし視覚からも伝わる投稿だったことがプラスになった。

### 地域に根付く新聞での発信も

今回のオータムフェストは、観光協会としてスタッフ自ら、企画・開発・仕入れ・調理とトータルでコーディネートした商品を販売する初の試み。岩見沢市観光協会✖株式会社丸新岩寺「ほのかグループ」で共同開発した「オニオン　ラテ・ぬ～どる」は、食べた人からも大好評だった。


岩見沢南空知

岩見沢産タマネギたっぷりの麺料理

観光協会と「ほのか」共同開発

「北都プロレス」10月興行に参加

メロン無料配布に長い列

夕張道の駅でフェス

出店やライブもにぎわう

## 岩見沢市ふるさと応援寄附と連動した
## 地域の魅力発信業務

岩見沢市ふるさと納税、PR冊子「Ireal B」Vo2を発行。
今までの冊子から大幅リニューアルし、返礼品事業者への撮影・取材を行いスペシャルページを設け、返礼品の魅力だけではなく、事業者の想いにフォーカスすることで、よりこの岩見沢市というマチの魅力が伝わるような魅力的な冊子を目指した冊子です。岩見沢市外でイベントなどで配布しています。

### 基本業務

①ふるさと納税返礼品PR冊子「IRealB」の発行
③岩見沢市が提供する返礼品の管理・新規登録関係など










**岩見沢の本物、リアルを発信する**
**「ふるさと納税返礼品」冊子**

「I Real B　Vol2」 2025年９月発行

今号のスペシャルページ返礼品事業者は、
Patisserie soraka　代表取締役　池添　幸子　さん

### 返礼品新規登録業務と仲介

岩見沢市観光協会店舗で取り扱っている商品を中心に、新商品として返礼品登録や、商品取扱者との調整などを行っています。

※現在は、取り扱い始めたマヤマックスさんの作品の新規登録を進めています。



# 事業別の主な内容
# 教育との連携

## 地域の魅力を知る「CM動画作り」の授業
## 岩見沢市立清園中学校

小学校・中学校で支給される「Ipad」を使用し、総合的な学習の中で、地域の魅力が伝わるCM制作づくりというテーマで、映像制作授業の講師を務めました。 動画を撮影するうえでのポイントやターゲットの定め方、撮影方法編集のコツなど、実際に観光協会で撮影し編集しているInstagramの動画を紹介しながら授業となりました。






## 地域探求授業への協力
## 岩見沢東高等学校、岩見沢緑陵高等学校、岩見沢高等養護学校

毎年、岩見沢東高等学校の「GANTOゼミ」や、岩見沢緑陵高等学校の「課題研究」「地域探求」授業、グループワークへの連携協力しています。
今年、岩見沢緑陵高等学校からは4グループが来所。
グループごとに興味や関心のあるテーマを掲げ、各担当職員へ現在の状況や課題などを話し合い、それぞれにアドバイスなどを行いました。
また、岩見沢高等養護学校からは、いわみちゃんのキャラクターをワンポイントにした木製の鍋敷やコースターなど、生徒達のアイディアを活かした商品の販売についてのアドバイスなども行っています。









## いわみざわ百餅祭りへの関心の高さ
### 第一小学校、緑中学校

岩見沢市教育委員会がすすめる、ふるさとを知り、ふるさとを愛する気持ちを育む「ふるさと教育」

ここでも、岩見沢市観光協会が協力しています。第一小学校からは、百餅祭りについて知りたいと要望があり、百餅祭りについて解説したあと、3条倉庫の見学を行いました。子どもたちは間近でみる大臼の大きさに歓声を上げていました。

また、緑中学校では、岩見沢青年会議所と協力したキャリア教育が行われており、その一コマとして、百餅祭りについて話をしてきました。普段は一緒に仕事をすることのない、様々な立場の人たちが一致協力してお祭りを作り上げるのだという説明に、メモを取る姿が印象的でした。

